

ラッピングバスがシンガポールを走る！ ～北海道に臨時航空便が就航～

シンガポール事務所

10月3日から12月25日までの12週間、シンガポール国内の路線バス10台が、札幌市を宣伝するために、外装をデザインされて走っています。10月3日には井上副市長が来星され、このラッピングバス発車を記念するセレモニーが行われました。



バスを紹介する井上副市長

井上副市長は、北海道旅行の魅力と共に、「2013年にシンガポールから札幌市へ訪れた人は前年比で1.8倍に増えています。シンガポールと札幌市の間で、観光や経済の交流が一層盛んになることを願っています。」と今後の期待について話しました。

ラッピングバスは、「自分だけの感動をみつけよう」をテーマに、北海道の冬の景色、観光名所、美味しい食べ物の写真があしらわれ、札幌市の冬の魅力が伝わるデザインとなっ



バス車内の広告

ていました。また、人気キャラクターの「初音ミク」が大きく描かれ、遠くから見ても一目で分かるデザインとなっていました。さらに、車内にも札幌市の食の魅力や臨時航空便の広告を施していました。

札幌市は「シティプロモート分野の連携に関する協定」に基づいて、地元企業が作り出した「初音ミク」を市の広報に起用しています。昨年は、タイ・バンコクで空港と市内を結ぶ電車のラッピングデザインにも「初音ミク」が利用されています。

今回、ラッピングバスを走らせた背景には、12月1日から翌1月16日までシンガポール～札幌間で、シンガポール航空臨時航空便が17往復就航することがあります。実際に札幌へ訪れることができる、冬のイメージに絞った効果的なPRであると感じました。

(太田所長補佐 浜松市派遣)